

めだかの学校だより

平成31年2月1日
第103号
学舎：周智郡森町一宮
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL: 0539-62-6691

校長訓話

第一〇三回 校長 鈴木 計芳

平成最後のめだかの学校の校長に指名していただき大変光栄に思っています。平成5年9月に引佐町奥山の自然休養村「つみくさ」で開校して以来、榊原幸雄さん始め多くの皆さんのご尽力により昨年25周年100回を迎えることができましたことをうれしく深い感動と感謝の気持ちで一杯です。私は第10回頃から出席していますが欠席も多く退学処分になりそうながらも何とか今日まで在籍することができました。長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、私は高卒後牧之原にある「茶業専門研修所」で一年間お茶について勉強したのち家業に携わり50年間近くになります。「昭和」の半ばから後半は茶業

界も好況で茶園の規模拡大や製茶工場の近代化・大型化も推進され生産も消費も好調な時代でした。その後「昭和」の終わり頃から「平成」になってからは世界的な政治や経済の混乱や多くの事件・事故大きな自然災害などが続き社会の混乱の中で茶業界も大きく変化してきました。そうした中で私も一生懸命がんばっていますがなかなか状況は厳しいところです。

私は昨年から今年にかけていくつもの「節目」を強く感じています。「平成」も30年続いてこの5月1日に改元されますし、明治維新から150年私の生業である農や茶に関わることで、県茶業研究センター開設110周年、県農業経営士制度50周年、私共の浜松茶農協創立50周年などいろいろ「区切り」となることが続いています。

こうした時に当たり私は人と人との心のつながりの大切さ、「ご縁と感謝の気

持を大事にしたいと思っています。

NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の時に強く感じましたが、井伊家発祥の地引佐町と彦根市はじめ全国各地の多勢の人たちと「ご縁」と交流のありがたさを大変うれしく思いました。「竜宮小僧」の話も多くの人に知っていただきよかったですと思います。

これからも「めだかの学校」を始め多くの皆さんとの「ご縁」と心と心のつながり・感謝の気持ちを大切に一生懸命がんばって行こうと思っています。よろしくお願い致します。



めだかの学校伝言板

第103回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／鈴木計芳

教頭／加藤ひとみ

用務員／若尾和孝

給食係／大久保陽・村木謙弐・牧野久子・池田タキ江
石野省三・中村やす代・田村進治・大谷香代子
原田豊子・西條洋子・渡辺三ツ子(チーフ)

※お手伝いできる人はぜひ早めにお出掛けを！

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮「一宮総合センター」

TEL: 0538-89-7730(開校日のみ)

開校日／平成31年3月1日(金) 6:20PMより

受付／大場敬子・大橋町代・埋田千聡・榊原幸雄(後見人)

26期通年テーマ：『今を感じつつ、新たな年は「ハヤブサ号」のように…』

今回のテーマ：《一つの時代の、変わり目に…》

- <時間割>
- 1時間目 歴史 上嶋裕志 先生(細江町) 「つなげたいもの、赤引から伊勢まで…」
 - 2時間目 社会 本島真弓 先生(浜松市) 「古きものを生かして、出会いの場に…」
 - 3時間目 総合学習 榊原淑友 先生(森町) 「つくること、つながることのウラには…」
 - 給食の時間～ひなご膳?～

9:30 開校

めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

■私と小山町・いいところですよ

小山町の役場にまちづくり専門監として勤めて5年が経とうとしている。今年度24.8億円も集めたふるさと納税の企画から、町の経済的基盤をつくってくれた富士紡績が残した殖産興業遺産活性化プロジェクト、クアオルトウオーキング、子育て支援施設整備、全国都市公園コンクールで国交省都市局長賞を受賞した金時公園の整備等次々と形にできた。一級建築士の知識とネットワークの知恵をフルに導入して、小山町の内発的開発を手掛けている。

「何で、小山町に？」と時々問われる。「県庁を早期退職してまでこの地に来たのは、自信過剰気味の力を発揮できていないことのモヤモヤ感と、辞めても経済的に安全であることが確認できたからだ。そして元県議の今の込山町長からのリクエストが重なったことがあって、県庁と同時に浜松の地を去ってこの地に来た。ただそれだけのこと」。手がけているものの完成まで面倒を見ること、次から次に出てくる町長のリクエストにこたえるために、もう少し富士山の麓のこの地で力の限りを尽くしてみたいと思う。

オリピック前には隈研吾デザインの足柄駅交流センターと誓いの丘公園、リノベーションした須走コミセン、空家目立つ音洲地区のリバイバル、PFIによる住宅40戸の建設、駿河小山駅周辺の改造、国登録文化財の森村橋を明治39年架橋当時を復元、豊門会館及び西洋館を改修し公開そしてレストラン、歴史ギャラリーにこ

れら全てお見せしますので、めだかの学校の皆さま、どうぞ小山町へお越しくださいませ。(溝口久メダカ)

■第17回全国まちづくり交流会 IN 福島飯館村の日程が決定

第17回全国まちづくり交流会IN福島飯館村の日程は、2019年8月2日(金)3日(土)・4日(日)の3日間に決まりました。会場など詳細は次回第104回めだかの学校便り(5月1日発行予定)で紹介いたします。参加希望の方は予定を組んでおいてください。

■鈴木正士メダカ宅「我が家のお茶摘み&コンサート」

磐田市大平の鈴木正士メダカ宅「大平山荘」の「我が家のお茶摘み&コンサート」は、4月27日(土)9時から行われます。近くの山で山菜とり、タケノコ掘り、お茶摘み、大平山荘に戻って食事&交流会、午後はコンサートで楽しみます。問い合わせ090・8964・9101へ

■春の「森の蔵展」

春の「森の蔵展」が3月23日(土)・24日(日)森町の中心街で開催されます。テーマは「大洞院と森の石松」。24日には次郎長一家28人衆が町内を練り歩きます。問合せは榊原淑友メダカ 090・1472・6189。

■獅子ヶ鼻公園桜まつり

磐田市北部の「獅子ヶ鼻公園」野外ステージ「桜まつり」は、4月7日(日)9時30分から開催します。舞台でのショーや屋台なども出店します。もち投げもあります。問い合わせは0539・62・6669 豊岡東交流センターへ

■フジバカマを植えてアサギマダラを呼びませんか

掛川市横須賀の鳥山剛メダカ。倉真温泉真砂館や倉真小学校にフジバカマを提供し、「アサギマダラの里」を計画5年。アサギマダラが飛来するようになった。メダカのみならずも庭にフジバカマを植えてアサギマダラを呼んでみたら…。フジバカマを差しあげます。問い合わせ090・6466・1429へ

『人・ひと・ヒト…だより』

今年もたくさんの方の年賀状を頂きました。その中から少しだけ年頭のあいさつを抜かして気になるところだけをつまんで掲載させて頂きます。

●東京「かがり火」の菅原敏一メダカ。こんな時頭に浮かぶのは二宮尊徳の「この秋は雨か嵐かしらねども今日のとつめに田草取るなり」の歌、だって。自分のためではなく、若い人たちのためと思えば、私たちの役割はまだたくさんあります。お互い頑張りましょう、と。ちなみに菅原メダカ76歳。バラメダカ79歳。開校100回まで頑張るゾー。

●北海道はオホーツクの船木耕二さん。年齢とともに余計なものやらぬものがどんどん増えていく。そのひとつひとつを削ぎとっていくと最後に残るのが『義と情と礼』。私はそれだけは必ず残したいと思つて生きてきました、だって。

●浜松市の加藤修一元メダカ。「生きるが勝ちだよ。楽しんでもん勝ちだよ」と、生きていくとうそみたいな、ほんとうがやってくる。「オ…大笑いする。…文章を書く、読む。シ…深呼吸する。イ…色々食べる。ボ…ボランテアする。と癌がよってこな

い」だって。寄ってきちゃった人も」やってみるといいかも。

●藤枝市の小嶋良之メダカ。敬愛する人生の師、坂村真民さんから頂いた直筆の言葉『念ずれば花ひらく』。念ずれば花ひらく苦しいとき。母がいつも口にしていたこのことばを。わたしもいつのころかとなえるようになった。そうしてそのたび。わたしの花が不思議とひとつひとつひらいていった、と。まずは念ずることからです。ハイ。

●浜松市の長谷川智メダカ。朝日新聞の記者で、昨年4月から週1回、郷土・遠州を考える『遠州考』の記事を連載中、と。第1回は「浜名湖のいだてん」だって。今年から始まったNHKの大河ドラマ「いだてん」東京オリムピック噺」。前半の主役は五輪マラソン初参加した金栗四三。後半は朝日新聞の政治記者で、浜松市出身の田畑政治。どんな展開になるか楽しみです。

●飯田市の長谷部三弘元メダカ。毎月B4の手書き4頁『ひさかた風土舎通信』を発行。30年12月で320号。内容も毎回地域上久堅の活動がびっしり詰まっている。まさに地域づくりの種まき。1991年5月に創刊し、2017年4月300号となり、昨年7月に保存版第五集を刊行。見れば水島加寿代、関京子、榊原幸雄メダカらの名前が。その持続へのエネルギーも凄い。が、「余白は楽しくいきたいもの、健康長寿でありたい」だって。「ひさかた風土舎通信」まだまだ続きますぞ！

●長野県天龍村の関京子メダカ。「今年は何年、大いなし」だって。「ゆべし」人生四十年余、終わりました」と。今は故福盛さんと支えてきた地域の伝統祭事やゆべしづくりなど、多くの活動資料をまとめていく。その資料や凄く！。めだかの学校にも行きたい、皆さんにお逢いした

いデスだって。まだまだ元気でいないとね。

●浜松市引佐町の与田新造メダカ。「出逢いはいつもすばらしい。出逢いは人の人生を変える！」と。元郵便局の職員から今はプロのミュージシャン、芸名はMr・ヨダ。

昨年6月の開校100回記念大同窓会交流会のトリ。いや〜楽しくたまえられました。

●東京のかまちよしろうメダカ。漫画家生活45周年！新聞漫画「ゴンちゃん」連載10周年！！人生70年（古希）！。古希記念ライブ『みんなずうずうしく生きようぜ』決定。日時は4月20日、場所は大森駅から徒歩3分の「風に吹かれて」だ。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。高齢者（74歳？）の自覚は無く、生涯現役が目標。興味津々、おせっかいで好奇心旺盛な『少年命じい』を続けて参ります、だ。

●横浜市の山根圭三メダカ。圭三、堂々たる（？）80代になりました。よろしゅうに。がんば：ガンバでやるつもり、だ。

いや〜病いを伴いながら気合は充分ですぞ！。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。今年も年賀新聞発行。「おもしろ人立めだかの学校」の登校回数が平成6年入学以来97回に達しました。みんなで有意義・好奇心と遊び心・挑戦心。この「建学のころ」に誘われ、通い続けていつしか25年が過ぎました。交流は新たな世界の門戸。開けるか？飛び込むか？好奇心が続くかぎり百回登校も可能かな？と。『不戦の誓い』も。

あとがきには、お医者様が変わったら「お薬」も変えてくれました。あら不思議、不調の発生がおこらなくなりました、だ。

●袋井市の竹野昇メダカ。沖繩辺野古埋め立て強行に心痛めています。昨年は3回しか現地座り込み、海上参加にできなかった。3月、8月には福島を訪問、現情を勉強してきた。浜岡原発再稼働を認めない活動も

している、と。2人の孫の好々爺でもありません、だ。

●浜松市の山下智之メダカ。昨年11月3日、111年ぶりに笠井報徳社（明治40年）を復活させました、だ。二宮尊徳といえ、わらび座のミュージカル『kinjiro』を思い出します。

●掛川市の杉浦清司元メダカ。昨年末にfacebookで見つけた『一生懸命だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言いつけが出る 武田信玄』ビビット来た素晴らしい言葉だ。うん、知恵は出ないけど、中途半端といい加減は私にぴったり、バラメダカ。

●浜松市細江町上嶋裕志メダカ。姫街道未来塾の10年間の瓦版を再編集して一冊の冊子に、2月末発売、と。「開拓と軽便」の『三方原物語』を、浜松文芸館で2月10日まで、資料とパネルで展示中、だ。

●岐阜県坂祝町のそばDa迷人の長谷川政夫メダカ。坂祝深萱の地で蕎麦の栽培を初めて20年、そば屋を開店して18年。真そば流味革命による町おこしコンサートと講演会を1月26日に行った、と。真そば流の味にこだわるそばDa迷人、限定『真そば流味革命・坂祝発』を発行した、だ。

●浜松市の池田誠二郎メダカ。臨床心理療法の大家、3つの“今こを磨く”『不安に感わず夢を磨く 利に感わず技を磨く 理に感わず人を磨く』が今年の目標だ。そうだ。今を磨き続けよう、感つたら今こをみつめるといいかも、デスね。

●袋井市の松本芳廣メダカ。農園の手伝いや家庭菜園、里山整備のボランティア活動に、蕎麦打ちなど忙しい。竹細工も習い始めた、だ。

●浜松市の大谷洋介メダカ。『自由は法律の内に求めよ のばすとも 手足はだす

なかやの外 明治の俳人 十湖翁』と。十湖翁の活躍した明治の時代は…思いを巡らすのもいいですね。

●浜松市の埋田千聡メダカ。作詩家でシンガーライター。昨年は色々なところでライブや絵本の読み聞かせをしました。今年5月からライブ活動開始、だ。

●磐田市の村田徳治メダカ。「ペーターベンは凄いな！全交響曲連続演奏会」を東京に聴きに行ってきた。交響曲第一番から第九番まで。全部。演奏も、指揮の78歳のコバさんのエネルギーも凄かった。浅草寺のおみくじは『大吉』。今年も幸先よい。だ。

●豊橋市の森田泰子元メダカ。せまい庭に好きなハーブを育てている。毎朝、苗を一巡してから一日が始まる、と。あなたのおかげで続けることの大切さを学んでいます。これからの世の中“つながり”これこそ命ですものネ。だ。

●浜松市の中村やす代メダカ。ささやかな幸せが日々訪れますように。今年も給食つくりです。だ。ありがとう！感謝です。とバラメダカ。

《新入生紹介》

●磐田市の若尾和孝メダカ。磐田市の職員でギター担当のバンド活動は18年。今年目標は「新しい友だち10人以上つくること」。将来は音楽スタジオをつくって若い人の支援をしたい、と。鈴木正士メダカ推薦。

●島田市の西條洋子メダカ。洋裁をやること、昔の着物、帯などを使ってバックなどを作るのが好き。推薦人は池田タキメダカ。

●森町の村松幸範メダカ。元校長先生。今はお袋さんの後を継いで柿栽培。品評会で賞をいただいた、と。園名は柿楽園。柿裁

培の余暇を見つけては各地の神社や郷土料理巡りなど、まだまだ知識の充電をしたい、だ。

《訃報》

●藤枝市の横山浩史メダカ。平成30年9月18日午前3時27分永眠いたしました。享年54歳。めだかの学校の第82回校長で、藤枝市の社会人サッカー協会に所属し、子供たちの指導もしていました。その後肺がんが見つかり、闘病生活は新聞にも載り、講演活動も。大同窓会の返事には、「葉が効いて落ちついている」と言っていたのに、残念です。11月30日に奥様から電話をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

●湖西市の寺田悦子メダカ。平成30年11月21日に永眠いたしました。享年68歳。めだかの学校第34回校長で、JAL国際線のグラントホステスの指導などしていたが、中途退職。自宅に合気道の道場を持ち、SBS学苑の講師もしていました。葬儀は故人の遺志により11月25日家族葬で弟さんから連絡がありました。ご冥福をお祈りいたします。

●浜松市の耳塚信博メダカ。12月16日永眠いたしました。享年65歳。葬儀は身内ですませました。と。鈴木青宵元メダカから連絡がありました。耳塚メダカは石の彫刻や絵、水に墨を流して紙着させる作品など色々したが、じっくりと腰を落着かせた創作活動がなかったことが惜しまれる。ご冥福をお祈りいたします。

x x x x x x x x x x

今回は紙面の都合でこれまで。お許しを。

《お詫び》

高田正人メダカの『めだか春秋』は、次回にさせて頂きました。

トピックス

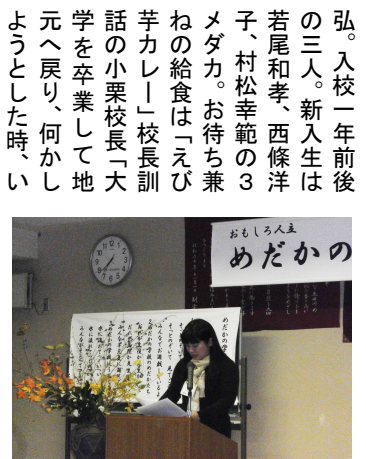
■第27期・期初特別授業は『進歩自由夢』をやるう！

とう言うことで第27期・第105回めだかの学校は、2019年9月6日(金)。期初特別授業は『進歩自由夢』形式で。特に今回は新元号になったことでもあり、日と時間を9月7日(土)午後2時ごろから翌日の午前9時ごろまでの1泊2日に変更。基本的には従来の時間割を踏襲しながらパネラーには地域活動実践者、地域を応援する人、それらをバックアップする人。給食の時間はたっぷりとして自由討論交流会のようにする。帰る人と泊まる人の配慮など。いろいろなことはこれから検討しますが、大いに楽しくやりたいので忌憚らないご意見を事務局までお願いします。返事は第103回めだかの学校『出欠席』のハガキに書いて提出してくださいと嬉しいです。「また、バラちゃんのわがままが始まった。しょうがないなア。やるしかないか(笑)」とは影の声。(バラメダカ)

■事務局だより

『♪春は名のみの風の寒さや。』庭の白梅が咲き始めました。近くの公園では早咲きの桜がちらほら。北陸や東北地方、北海道では吹雪の予報。暖地の有り難さを実感しています。でも寒い。

さて第102回めだかの学校は、30年12月7日金曜日。101回の時は鐘がなかく焦ったが今回は少し小さいが骨董屋さんから買い、鳴らすことができた。校長は小栗華、教頭は長谷川智、用務員は大杉昌



弘。入校一年前後の三人。新入生は若尾和孝、西條洋子、村松幸範の3メダカ。お待ち兼ねの給食は「えび芋カレー」校長訓話の小栗校長「大学を卒業して地元へ戻り、何かしようとした時、いわた雪まつりを若者いわたネットワークがやっているのを知り、仲間に入る。その人と人との出会いが行動の幅を広げてくれた」などを語る。授業は一時間目は国語「どこへ行くの？」結婚して加藤真知子から鈴木真知子になりました。と言う訳で鈴木真知子先生。平成元年生まれの30歳。スマホ片手に、面白いサラリーマン川柳を年代ごとに追って紹介、若い人の持つスマホ時代を感じました。二時間目社会「ひとつ、ふたつ、なにしているの？」田村進治先生。昭和16年11月8日二宮に生まれる。一か月後の12月8日には日本が真珠湾を攻撃して太平洋戦争が始まる。昭和35年電電公社(現NTT)に就職、各地を転々単身赴任生活20年。退職後は木が好きで、日曜大工で離れまで作ってしまったとのこと。三時間目、家庭「教えて…なにをするの？」富田久美子先生。始めに石野裕子メダカの伴奏で手あそびをする。水窪町西浦生まれの5人家族の末っ子。4人の子育てしながら45歳で浜松のあすなろ幼稚園に勤務。今は磐田市の「竜の子幼稚園」で子育てママの支援責任者。そのかたわら、磐田市岩室の古民家を購入し、子育てママの交流の場づくりをしている、と語る。3人3様良かったね。

私語飲食全て禁止の『次回三役発表』。

第103回は平成31年3月1日。平成最後の開校であることから、校長は開設地の引佐町から選ぶ。鈴木計芳校長。教頭は加藤ひとみ、用務員は新入生の若尾和孝。鈴木校長やる気十分。加藤教頭、若尾用務員よろしく頼みますね。次回給食係も決めて、午後9時いつものように大きな輪をつくり「今日の日はさようなら」を歌いつつ握手してお別れ。お互いの手の温もりや言葉のやりとり。いつも時間オーバーの心通じあえるひとときである。またの再開を。

第103回めだかの学校の職員会議を1月9日(水)19時から学舎で開く。夕食は暖かな鳥の釜めし、美味しかった。もちろん自腹でお茶つき1000円。鈴木計芳校長、加藤ひとみ教頭、若尾和孝用務員の3役と、職員12名の15人。校長あいさつのと、第103回は平成最後の学校であるので、それを念頭におきながら話し合う。授業の先生は2回生(平成5年12月)の榎原淑友メダカと上嶋裕志メダカに。もう一人の先生は「古民家を借りてマルカワの蔵、又水」で頑張ってる本島真弓さんはどうだ」と。上嶋君はポケットが多すぎて一本に絞った方がいい、と一時間目歴史「つなげたいもの、赤引から伊勢まで…」に。二時間目は社会「古きものを生かして、出会いの場に…」三時間目は、淑友ちゃん、森の蔵展やトイレに学ぶ会など色々やってるけど奥さんの支えがあればこそだね、と、総合学習「つくること、つなげることのウラには…」としました。面白いことに、上嶋メダカは3月で自治会長終わり、淑友メダカは4月より自治会長、地域は違いますが、張り切り校長と頑張り3先生。面白そうですね。

事務局のバラメダカから「トピックス」の内容のような日程変更などの話も出ました。

■第26期の受付をしています…
第26期は平成30年9月1日から31年8月31日までです。毎年度入校手続きが必要で、未提出の生徒は名簿からはずれ自主退学となりました。随時再入学できます。新しく入校を希望される方がいましたら事務局までご連絡下さい。申込書と資料をお送りします。

■今回も「めだかの学校だより」遅れてごめんない。

今回も「めだかの学校だより」遅れてごめんない。いつもお手伝いいたたいです。鈴木武史メダカ、石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、大杉昌弘メダカ、田村進治メダカ、本島慎一郎メダカ、まとめて下さる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い、榎原明美さんありがとう！

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、2019年5月1日予定。締切りは、4月15日。みなさんの日頃の活動、イベントの開催など、情報を手紙かFAXで待っています。メールの方は、
《mabuchi-trad@vr.tnc.ne.jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「報を」)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榎原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX 同じ)
※学舎「一宮総合センター」周知郡森町一
宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

